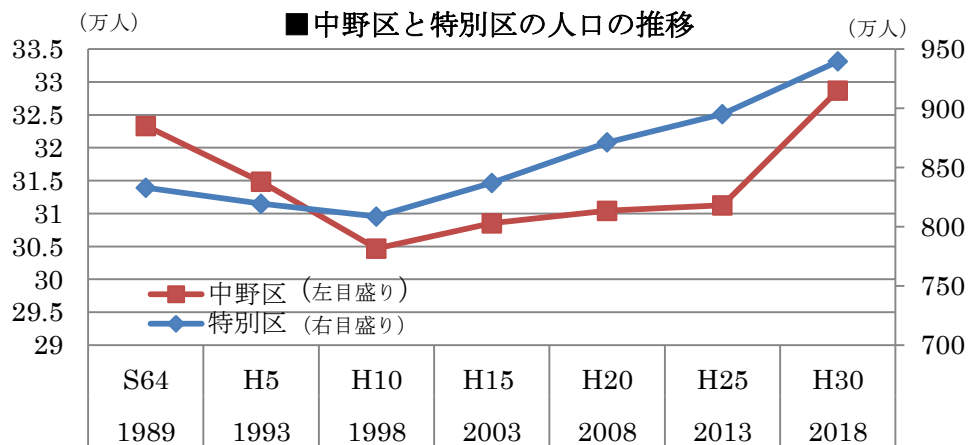
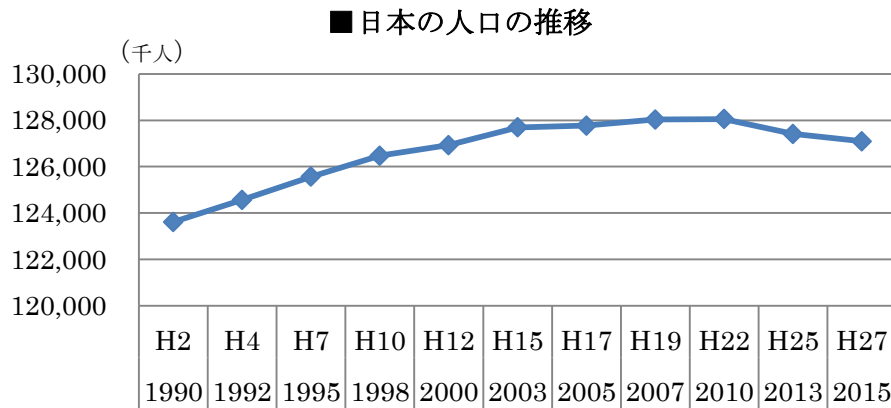


中野区の人口推移等について

1. 人口の推移

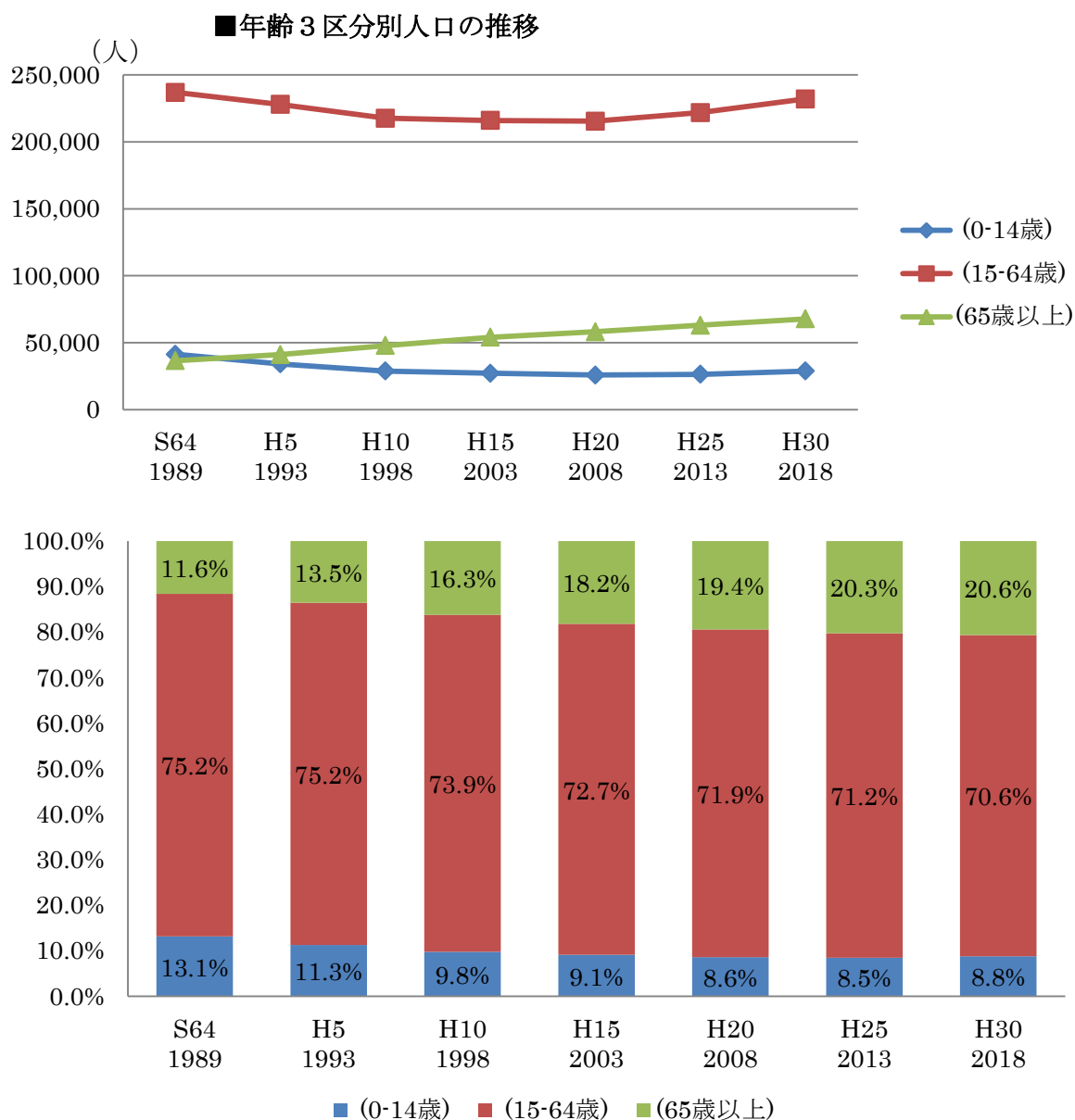
全国の総人口は、増加傾向にあったが平成 20（2008）年の 1 億 2,808 万人をピークに減少傾向となっている。平成 30（2018）年の中野区の総人口は 328,683 人、特別区の総人口は 9,396,595 人であり、平成 10（1998）年以降増加傾向が続いており、日本全体では人口減少に転じているが、中野区及び特別区の人口は増加傾向にある。



(資料) 全国は国勢調査及び補間補正人口（各年 10 月 1 日）
 中野区と特別区は住民基本台帳、外国人登録（各年 1 月 1 日）

2. 中野区の年齢3区分人口の推移

昭和 64 (1989) 年以降の中野区の老年人口 (65 歳以上) は増加傾向が続いており、全体に対する割合 (高齢化率) は平成 30 (2018) 年で 20.6% となっている。年少人口 (0-14 歳) 及び生産年齢人口 (15-64 歳) は、平成 24 (2012) 年まで減少傾向だったが、その後増加傾向となっており、平成 25 (2013) 年以降は全区分の人口が増加傾向にある。



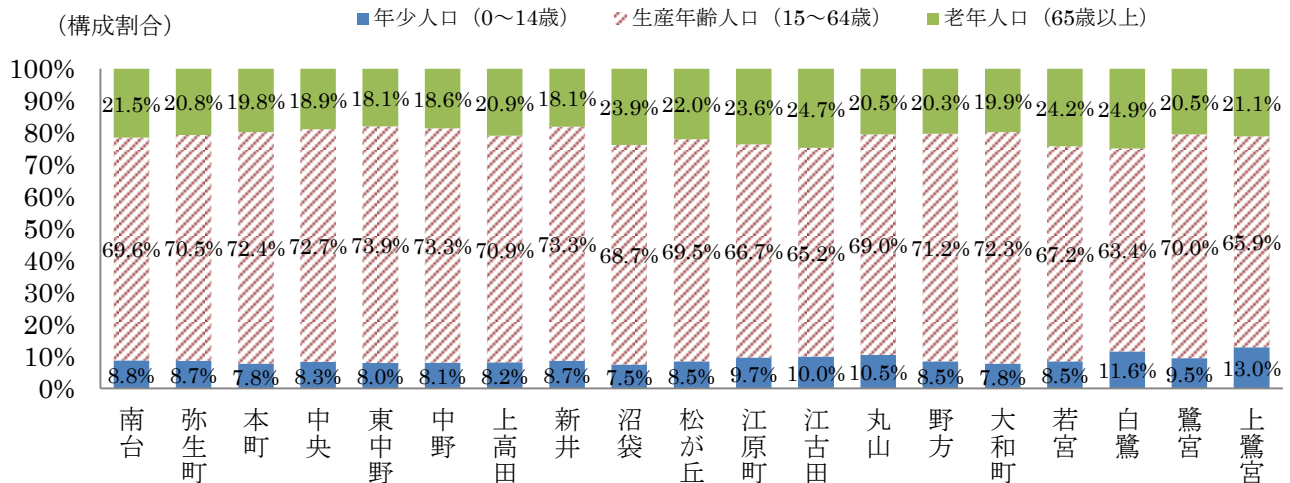
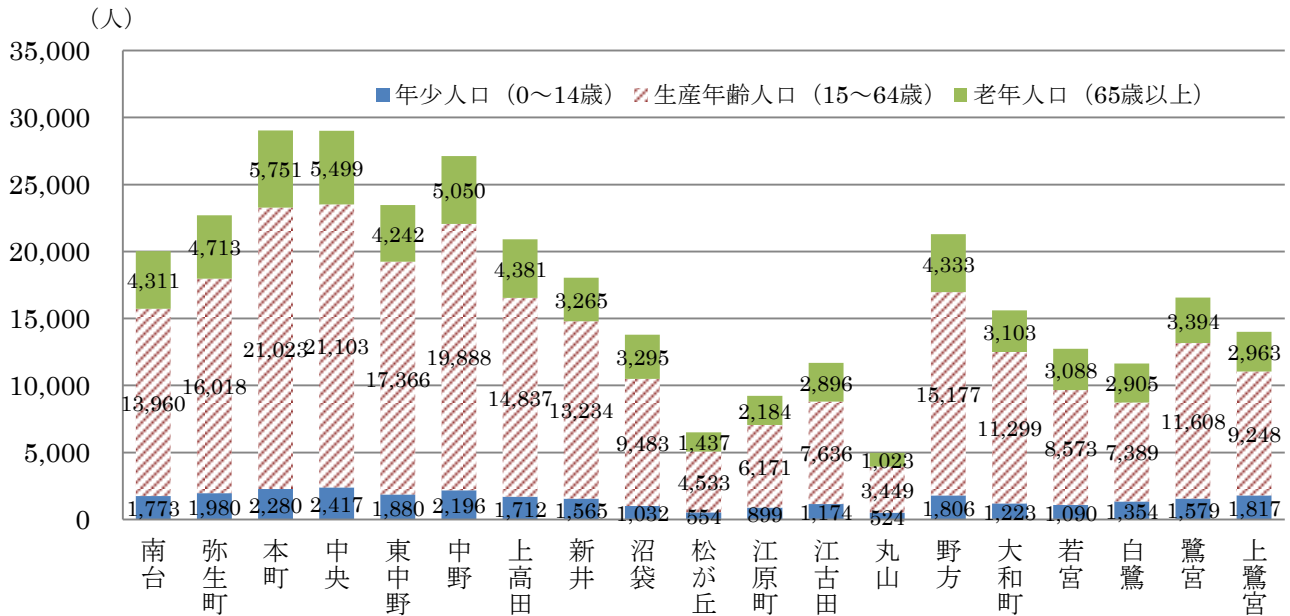
(資料) 住民基本台帳 (各年 1 月 1 日)

※住身基本台帳法の一部改正により平成 25 (2013) 年から外国人を含んでいる。

3. 中野区の町別・年齢3区分別人口

平成30(2018)年の各町別の人口については、一番多いのは本町(29,054人)で、次いで中央(29,019人)、中野(27,134人)の順に多くなっている。

各町別の年少人口の割合は、上鷲宮(13.0%)、白鷲(11.6%)、丸山(10.5%)の順に高い割合となっている。老年人口の割合は、白鷲(24.9%)、江古田(24.7%)、若宮(24.2%)の順に高い割合となっている。

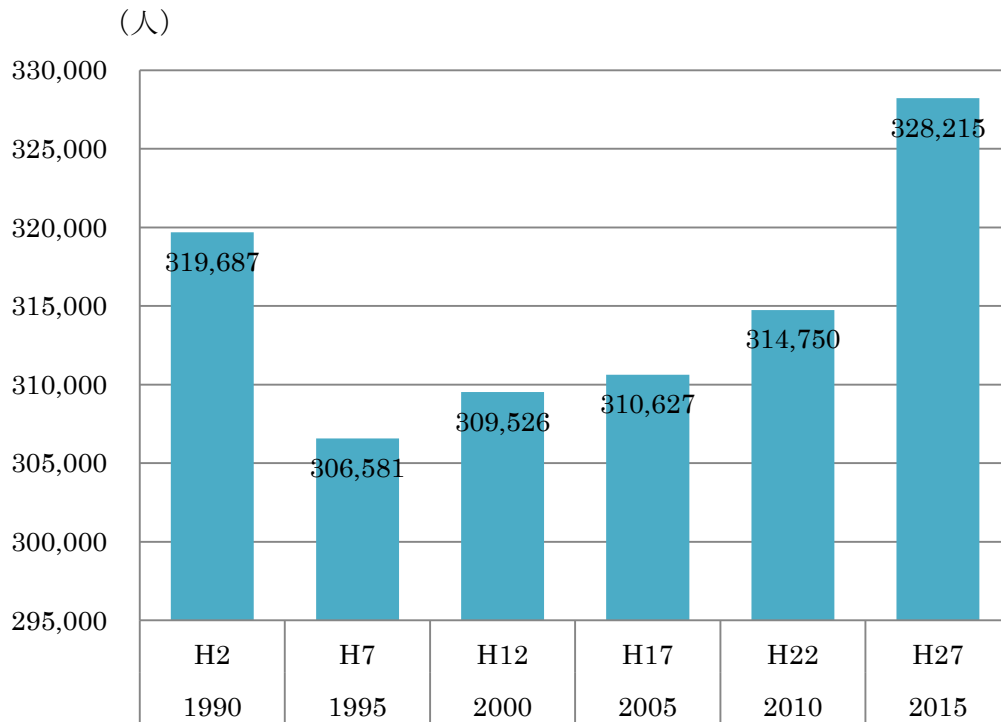


(資料) 住民基本台帳 (平成30(2018)年1月1日)

※住民基本台帳法の改正に伴い、外国人世帯・人口を含む。

4. 国勢調査による中野区の人口推移

国勢調査による中野区の人口は、平成 7 (1995) 年に 306,581 人となって以降増加に転じ、平成 27 (2015) 年で 328,215 人となっている。



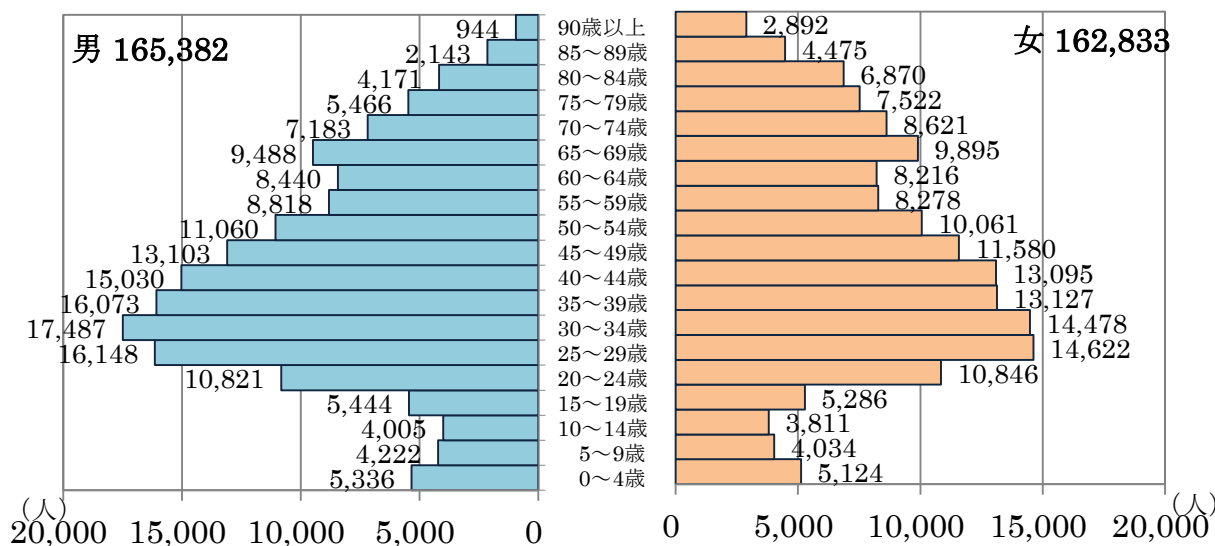
(資料) 国勢調査 (総務省)

5. 国勢調査に基づく中野区の将来人口推計

総人口は、平成 57 (2045) 年までほぼ横ばい状況が続く推計となっている。

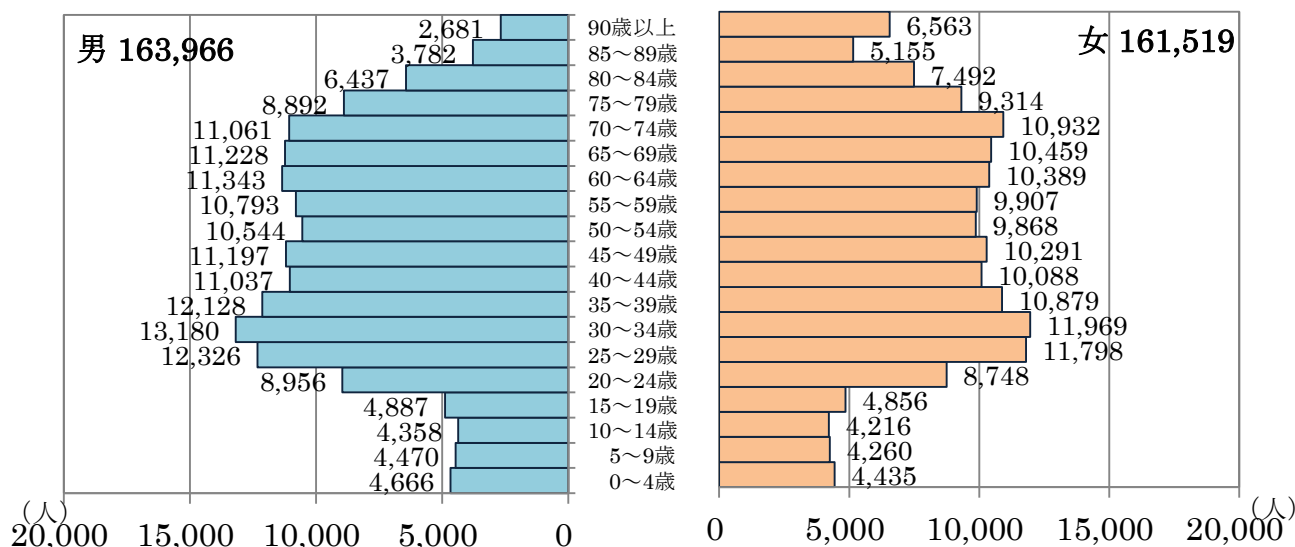
構成の割合は、年少人口 (0~14 歳) は 8.1%から 8.1%、生産年齢人口 (15~64 歳) は 70.7%から 63.0%、老年人口 (65 歳以上) は 21.2%から 28.9%と推計されている。

■平成 27 (2015) 年 10 月 1 日 人口 328,215 人



(資料) 平成 27 年 (2015 年) 国勢調査

■平成 57 (2045) 年人口推計 人口 325,585 人



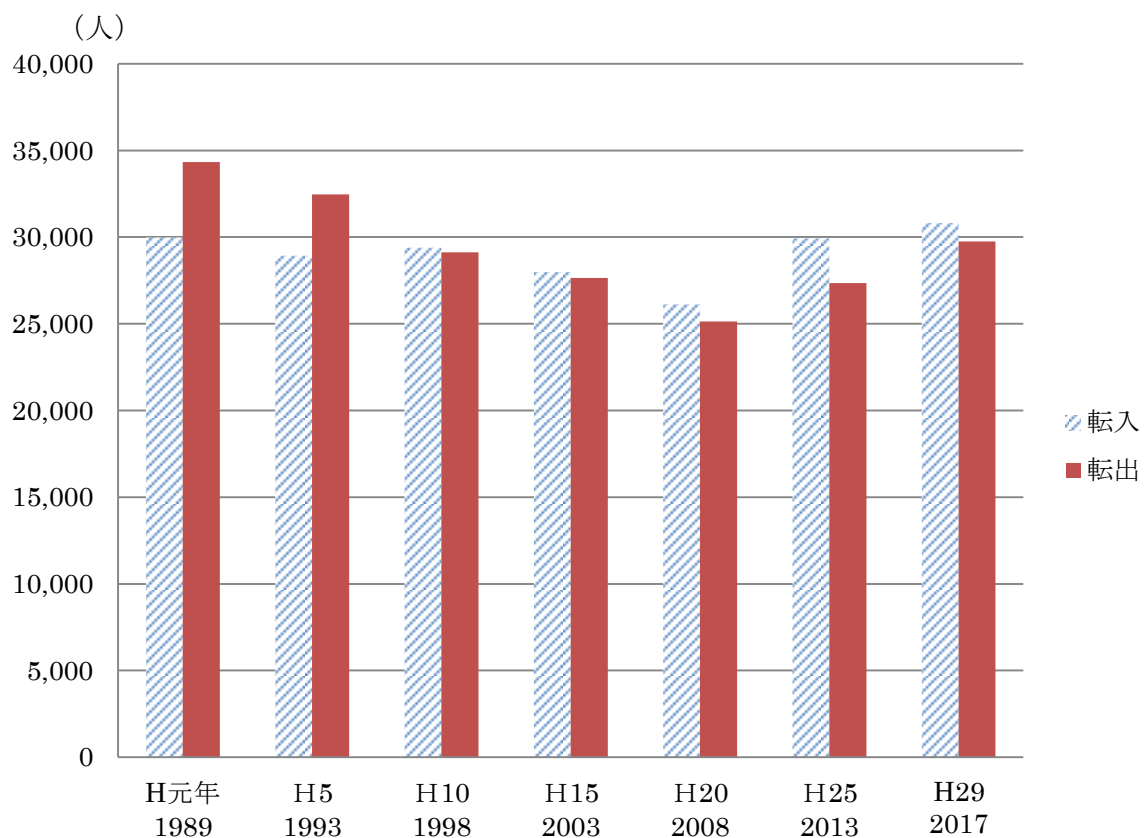
(資料) 国立社会保障・人口問題研究所 (平成 30 (2018) 年 3 月推計)

(注) 移動率の仮定値の設定にあたり、人口移動の傾向は平成 22 年 (2010 年)~平成 27 年 (2015 年) の傾向が平成 52 (2040) 年~平成 57 (2045) 年まで続くと仮定している。

6. 中野区の転入・転出の状況（全年齢）

平成 29（2017）年の転入者数は 30,817 人、転出者数は 29,742 人となっている。

転入者・転出者ともに平成 20（2008）年以降増加傾向が続いており、平成 10（1998）年以降は、転入が転出を上回る状況が続いている。

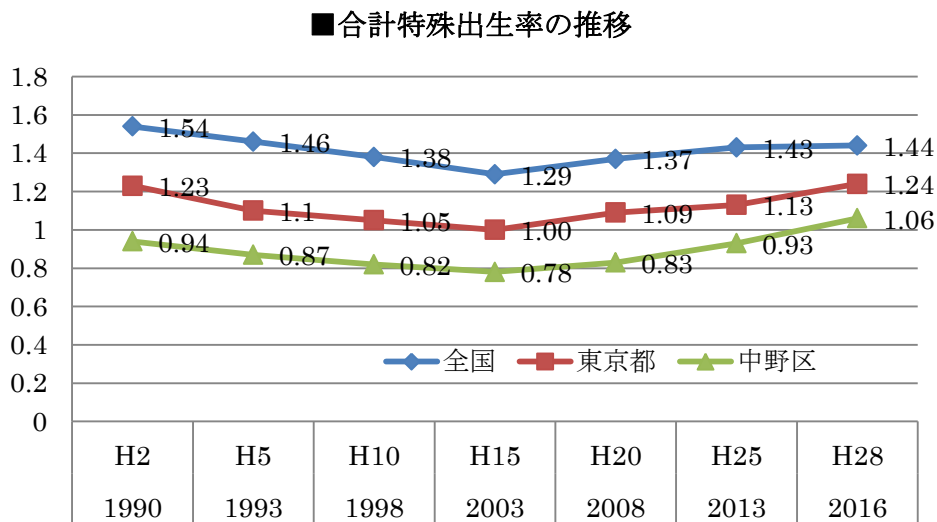
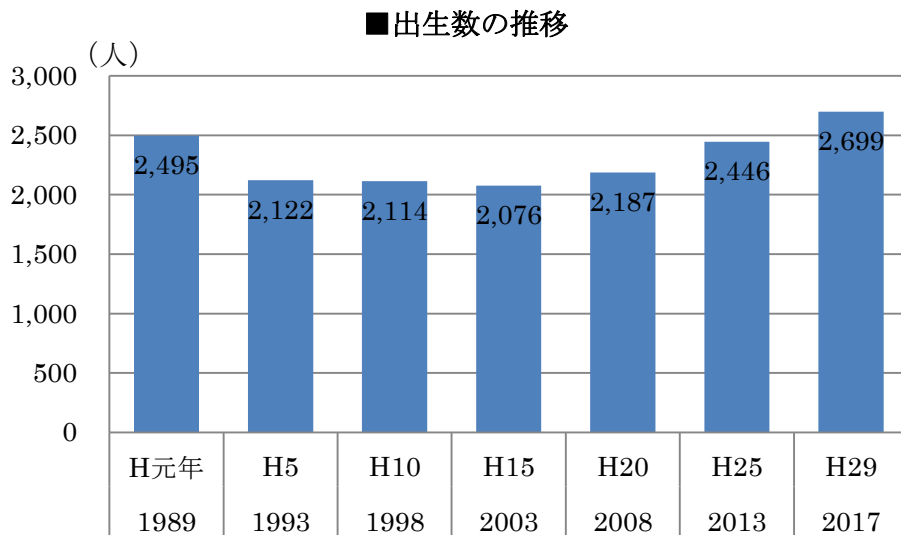


※住民基本台帳法の一部改正に伴い、平成 25（2013）年から外国人世帯・人口を含む。

7. 出生数・合計特殊出生率

中野区の出生数及び合計特殊出生率は、ともに平成 15（2003）年以降増加傾向となっているが、合計特殊出生率は全国の平均、東京都の平均よりも低い状況が続いている。

平成 28（2016）年の合計特殊出生率は中野区 1.06、特別区 1.24、全国 1.44 となっており、いずれも人口維持に必要な水準の 2.07 には達していない。

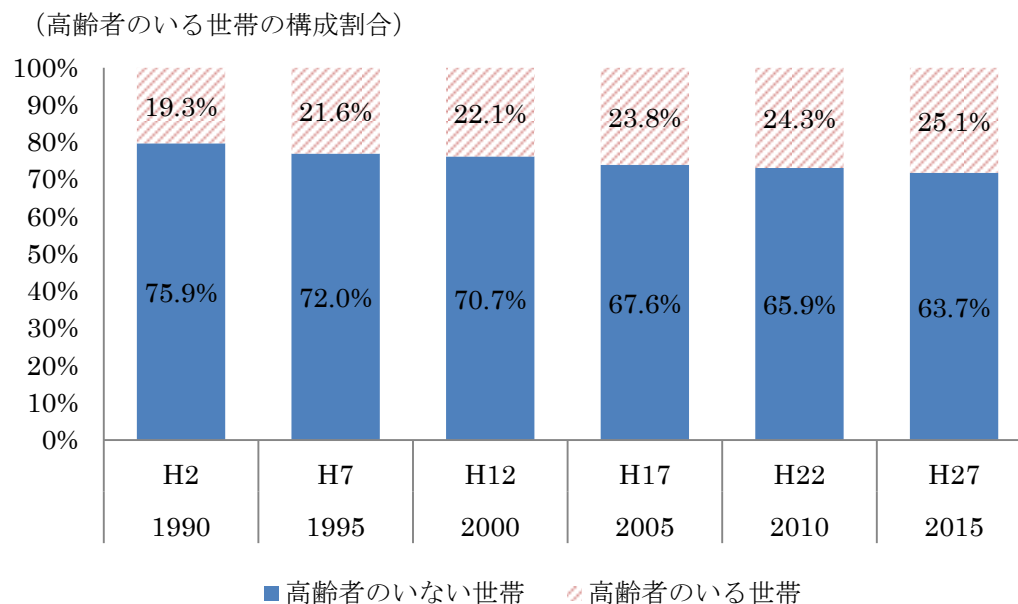
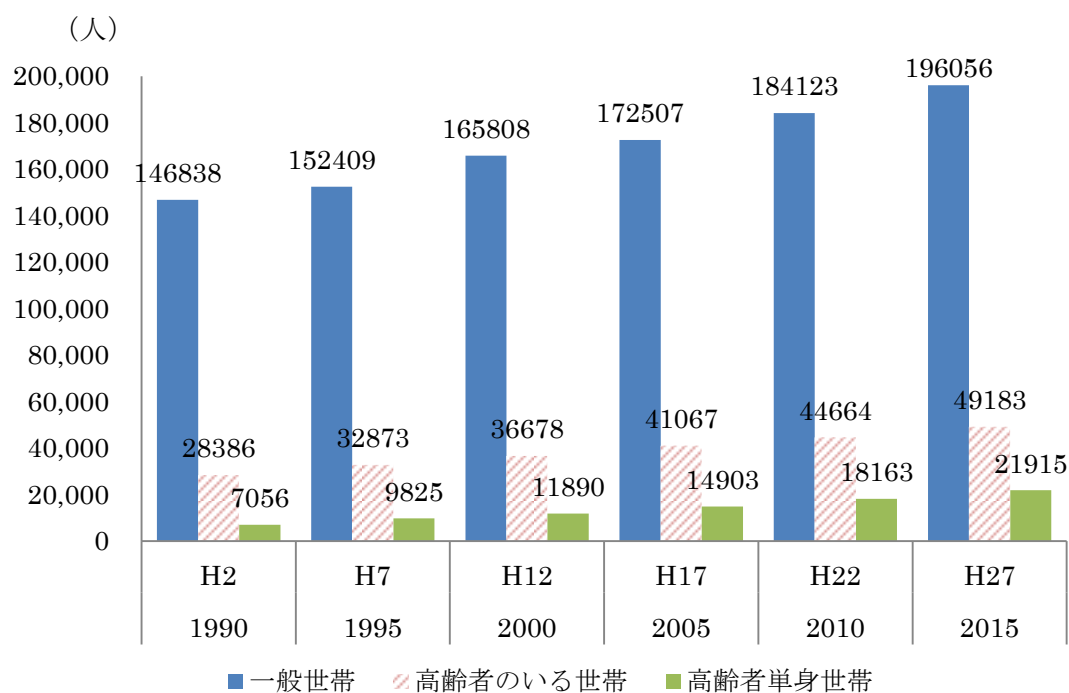


(資料) 人口動態統計

8. 中野区の高齢者世帯の推移

中野区の世帯数は、一般世帯数、高齢者のいる世帯数、高齢者単身世帯数、いずれも増加傾向となっており、平成 27 (2015) 年の高齢者のいる世帯数は 49,183 世帯、高齢者単身世帯数（高齢者のいる世帯の内数）は 21,915 世帯となっている。

中野区の高齢者のいる世帯数の構成割合は、増加傾向が続いており、平成 27 (2015) 年は 25.1%となっている。



(資料) 国勢調査

(注) 「高齢者のいる世帯」は「一般世帯」の内数、「高齢者単身世帯」は「高齢者のいる世帯」の内数となっている。